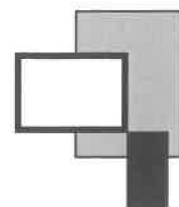


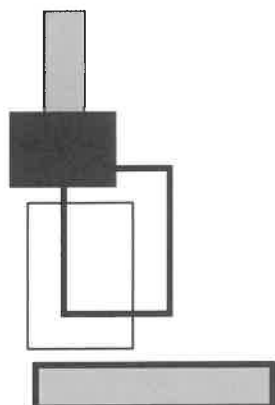


Matsuyama
Business
College



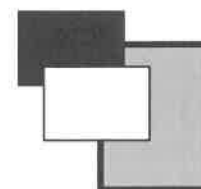
松山デザイナー専門学校

ファッションクリエイター学科



2023 年度

シラバス



パタンナーコース 2 年

名前

※一年間、各自保管すること

令和5年度

服飾家政専門課程 ファッションクリエイター学科 パタンナーコース

必修/ 選択		区分	科目名	種別	担当者	パタンナーコース 2年		
						前期	後期	単位
必修	学科 共通		服飾造形Ⅲ	実習	大野	180		6
			パターンメイキングⅡ-A	講義	野口	60		4
			舞台衣装Ⅰ	講義	川上	30		2
			色彩学Ⅲ(全学科共通)	講義	青田	30		2
			デジタル演習Ⅲ(全学科共通)	実習	野田	30		1
			クリエイションデザインⅡ	実習	大木	60		2
			服飾造形Ⅳ	実習	大野		180	6
			パターンメイキングⅡ-B	講義	野口		60	4
			舞台衣装Ⅱ	講義	川上		30	2
			色彩学Ⅳ(全学科共通)	講義	青田		30	2
			デジタル演習Ⅳ(全学科共通)	実習	大木		30	1
	パ タ ン ナ ー コ ー ス		パターンメイキング実習Ⅰ-A	実習	大野	30		1
			アパレルCADⅠ	講義	玉井	30		2
			パターンメイキングⅡ-C	講義	大野		30	2
			パターンメイキング実習Ⅰ-B	実習	大野		30	1
			アパレルCADⅡ	講義	玉井		30	2
			創作パターン/サンプル縫製(メンズ・キッズ)	実習	野口		30	1
必修科目合計						450	450	41
						900		
選択			研修	実習	大野		30	1
選択科目 合計								
年間合計時間/単位数							900	41

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	服飾造形Ⅲ	時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションデザイナーコース 2年 パタンナーコース 2年
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。				
学習到達 目標	学祭ファッションショーでオリジナルデザイン作品を発表する。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	年間計画・Fショーについて	年間計画、学祭のテーマ設定			
2～3	デザイン考案	デザイン画プレゼンテーション			
4～8	Fショー作品制作2点 学祭7月	パターン作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け			
9～46		裁断、縫製			
47～48		スタイリング、撮影			
49～52	ジャケット柄	パターン作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け			
53～82	〃	裁断、縫製、仕上がり			
83～84	〃	スタイリング、撮影(課題:次回制作ワンピースのデザイン画考案)			
85～86	部分縫い	薄物の仕立て方、袋縫、パイピング			
87～90	ワンピース	パターン作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け			
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、縫製技術20%、完成度30%、スピード20%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。				

授業科目	パターンメイキングⅡ-A			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	火曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科2年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、デザイン表現技術の修得を目指す。						
学習到達 目標	デザイン画を見て各アイテムのパターンを制作できる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、「今」のファッションを表現するパターンテクニックと型紙の制作方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	授業ガイダンス		授業、制作物にについて				
2	ダーツ操作のバリエーション		ウエスト、ゴージ、センター、ショルダー、アームホール、ウエスト2種				
3～5	袖のバリエーション		ランタン、ペタル、ジゴ、タック、フレアー、パフスリーブ(実寸製図)				
6～8	襟のバリエーション		スタンド、台襟付きシャツカラー、シャツ、フラット、ステン(実寸製図)				
9～13	ブラウス製図		工業用パターン作成、仕様書作成				
14～16	トワールによる実寸組立て		トワール裁断、ピンワーク				
17	パンツ原型		パンツ概論、パンツ原型製図(縮尺製図)				
18～19	パンツのバリエーション		フレアードパンツ、ペグトップパンツ、ベルボトムパンツ(縮尺製図)				
20～22	トワールによる実寸組立て		トワール裁断、ミシン縫製				
23～24	創作ブラウス製図		各バリエーションから組み合わせデザイン、オリジナルパターン(実寸製図)				
25～26	創作ブラウス製図		工業用パターン作成、仕様書作成				
27～29	創作ブラウス製図		トワール裁断、ピンワーク				
30	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキングⅠ 他2冊、ドレメオリジナル原型 1/5 他 約11点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	舞台衣装Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	川上 須賀代	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース2年
授業科目の テーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す。				
学習到達 目標	基本原型からパターン展開し、舞台衣装に対応できるオリジナルパターンと制作ができるようになる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエイターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	衣装概論・製図	衣装制作に必要な製図方法			
2	立体検証	袖応用：袖山の検証、応用			
3	立体検証	デザイン画を読み取り、製図方法を立体で検証			
4	衣装デザイン画	衣装デザイン画(4体)、授業中にリサーチプレゼンとデザイン画確認			
5	プレゼンテーション	アイドルに向けたプレゼンテーション			
6	最終衣装デザイン画	修正を行い、衣装デザインを完成させる/採寸方法指導			
7	採寸	アイドルグループの採寸を行う			
8	衣装パターン①	アイドルサイズでパターン制作準備			
9～11	衣装パターン②	アイドルサイズでパターン制作			
12	トワール制作	シーチングを用いてトワール制作(ミシン)			
13～14	仮縫い縫いフィッティング	アイドルに向けて仮縫いフィッティング			
15	衣装パターン③	パターン修正箇所の確認、修正方法			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題80%(縫製、完成度)、プレゼンテーション20%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	色彩学Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙			時間割	金曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通にいたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定2級合格できる知識の習得。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	産業における色彩		産業と色彩				
2	〃		ファッション産業と色彩				
3～4	色彩理論-光、視覚、心理		光と色				
5	〃		色覚のしくみ				
6	〃		色彩と心理				
7	色彩体系-色名とカラーシステム		色名				
8	〃		三属性による色の表示方法				
9	〃		色見本とカラーコード				
10	配色と色彩調和		流行配色				
11	〃		調和の技術				
12	〃		色彩調和論				
13	〃		ファッション イメージとカラーコーディネート				
14	〃		日本の古典的な配色-重ねの色目				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集：日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考							

授業科目	デジタル演習Ⅲ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴	時間割	水曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年
授業科目の テーマと目的	就活を中心にした授業内容でポートフォリオや作品集、ブランド企画などをテーマに指導。				
学習到達 目標	自己アピールと作品のプレゼン内容を明確に表現できる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	ポートフォリオ	ポートフォリオとは			
3～4	〃	ポートフォリオの作成			
5～6	〃	ポートフォリオの作成			
7～8	〃	ポートフォリオの作成			
9～10	商品企画	テーマからデザインを考えマップを制作			
11～12	〃	テーマからデザインを考えマップを制作			
13～14	〃	テーマからデザインを考えマップを制作			
15	修了テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	プリント配布				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	クリエイションデザインⅡ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大木 美代子			時間割	金曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	決められたテーマから着想して、多様なデザイン展開と表現方法を学ぶ。						
学習到達 目標	テーマを的確にとらえて、オリジナリティのあるデザイン表現が出来るようになる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッションイラストのふり 返し		設定したテーマで描く				
2～29	実践する		コンテスト作品の作成 着想→デザイン→発表(6～7テーマ)				
30	デザイン画のまとめ		半年の自身の作品を振り返り、今後の目標を確認する				
使用テキスト 教材・教具	コピックチャオ、色鉛筆、水性顔料ペン、絵具、ドローイング帳						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	デザイン力40%、発想力40%、提出物20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅳ			時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションデザイナーコース 2年 パタンナーコース 2年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達 目標	トータルコーディネート制作。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～10	パンフレット作品(40コマ)		パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
11～38			裁断・縫製				
39～40			スタイリング、撮影				
41～50	オートクチュール作品(40コマ)		パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
51～78			裁断・縫製				
79～80			スタイリング、撮影				
81～84	自由制作(10コマ)		パターン作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
85～89			裁断・縫製				
90			スタイリング、撮影				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、縫製技術20%、完成度30%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	パターンメイキングⅡ-B	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科2年
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、デザイン表現技術の修得を目指す。				
学習到達 目標	基本型からの応用ができ、パターンからトワルを組み、立体の確認をする事ができる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、「今」のファッションを表現するパターンテクニックと型紙の制作方法を指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	Tシャツ製図	サンプルを採寸しパターン制作			
3～4	実寸組立て	カットソー裁断、ミシン縫製			
5～7	スカートのバリエーション	マーメードスカート、プリーツスカート、ヨークドスカート、エンパイアスカート			
8～9	トワールによる実寸組立て	トワル裁断、ピンワーク(スカートバリエーションから1点選ぶ)			
10	検討会	スカートバリエーションの立体を確認			
11～12	身頃続きの袖	三角マチ、ひし形マチ、五角マチ(縮尺製図)			
13～14	トワールによる組立て	トワル裁断、ミシン縫製(1型選ぶ)			
15～16	メンズシャツ製図	台襟付きシャツカラー、シャツスリーブ			
17～18	メンズシャツ製図	パーツパターン抜き出し			
19～20	メンズシャツ製図	工業用パターン、仕様書作成			
21～22	トワールによる実寸組立て	トワル裁断、ピンワーク			
23～24	ファッション3Dモデリング 導入	ファッション3Dモデリングの基本操作説明			
25～28	ファッション3Dモデリング 基礎	3D画面で立体でパターンを作成			
29～30	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	配布プリント、パターンメイキングⅠ 他2冊、ドレメオオリジナル原型 1/5 他 約11点				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	舞台衣装Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	川上 須賀代			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パターンナーコース2年		
授業科目の テーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す。						
学習到達 目標	自ら課題を発見し、解決に導く力、想像力、発想力、表現力を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエイターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	衣装パターン①	使用素材の確認・修正パターン作成					
3～4	トワルチェック	最終トワルチェック					
5～6	パターン修正	修正パターン作成					
7～8	裁断	使用生地のカット、芯貼り					
9～13	制作	衣装制作					
14	最終フィッティング	衣装フィッティング					
15	最終確認	修正、納品に向けて仕上げ					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題80%(縫製、完成度)、プレゼンテーション20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅳ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年
授業科目の テーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通にいたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。				
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定2級合格。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	ファッション産業における 色彩計画	ファッション 業界において色彩を取り扱う姿勢			
2	〃	情報としての色彩			
3～4	〃	商品企画における色彩計画			
5	〃	生産段階における色彩			
6	〃	販売における色彩計画			
7	〃	パーソナルコーディネーションと色彩			
8～14	検定対策	過去問題集から模擬テスト、解答			
15	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集：日本ファッション教育振興協会				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考					

授業科目	デジタル演習Ⅳ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大木 美代子	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年
授業科目の テーマと目的	基本操作の応用、オリジナルのコラージュ作成で多様な世界観の表現ができる。				
学習到達 目標	テーマにマッチしたコラージュの作成ができるようになる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	ポートフォリオとは	ポートフォリオとは、つくる目的			
2～4	練習課題	テーマに合わせて作成する 基本的な構成を学ぶ			
5～7	テーマ①	オリジナルのテーマ設定			
8	テーマ①	発表			
9～11	テーマ②	オリジナルのテーマ設定			
12	テーマ②	発表			
13～14	テーマ③	オリジナルのテーマ設定			
15	テーマ③	発表			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	作品70%、プレゼンテーション力30%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	パターンメイキング実習Ⅰ-A			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	夏季休暇 集中開講	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース2年		
授業科目の テーマと目的	デザインブラウスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格を目指す。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	パターンの理解		A、Bブラウス2点のパターンを理解、覚える				
6～15	実技練習		製図、シーチング組み立て一連の反復練習				
使用テキスト 教材・教具	シーチング他、パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題作品100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2023年12月9日(土)		
備考	夏休み中の集中授業。						

授業科目	アパレルCAD I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	玉井 牧子			時間割	隔週木曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース2年		
授業科目の テーマと目的	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ。						
学習到達 目標	アパレルCADを使いこなす。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして勤務実績のある講師が、その経験を活かして、アパレルCADの基本的な知識 や操作方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	はじめに	CADについて説明					
2	パターンメイキング	仕様書の見方、型紙をひく					
3～6	〃	デジタイザー入力、パターンの展開・出力					
7～8	〃	パターン修正					
9～10	〃	デザインから寸法を考えパターンを作成する					
11～12	〃	縫製、パターン修正					
13	マーキング	マーカー入れ					
14～15	まとめ	実技テスト					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	操作手順習得状況50%、実技テスト50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅡ-C			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース 2年		
授業科目の テーマと目的	パターンメイキング技術検定試験3級の筆記試験対策を主な目的とし、パターンメーカーに必要な基礎要素・基礎知識・技術の習得。						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格を目指す。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	既製服の概念		既製服の基礎知識とパターンメイキング用語について				
2	〃		既製服のパターンについて、既製服の寸法				
3~4	ファースト パターンメイキング		フラットパターンの基礎知識(身頃、スカート、袖)				
5~6	〃		ブラウスのパターンメイキング(縮尺)				
7	〃		ドレーピングの基礎知識(模擬テスト)				
8	工業用パターンメイ キング		工業用パターンとは 工業用パターンの記号				
9	〃		工業用パターンの知識				
10~11	〃		工業用パターンメイキング(模擬テスト)				
12~13	グレーディング		グレーディングとは (模擬テスト)				
14	素材		素材の知識とパターンメイキング				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30% 修了テスト70%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2023年12月9日(土)		
備考							

授業科目	パターンメイキング実習Ⅰ-B		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース 2年	
授業科目の テーマと目的	デザインブラウスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。					
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～7	実技練習A	時間を計り(3時間半)、反復練習				
8～15	実技練習B	時間を計り(3時間半)、反復練習				
使用テキスト 教材・教具	シーチング他					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題・作品60%、検定40%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2023年12月9日(土)		
備考						

授業科目	アパレルCADⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	玉井 牧子			時間割	隔週木曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース2年		
授業科目の テーマと目的	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ。						
学習到達 目標	アパレルCADを使いこなす。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして勤務実績のある講師が、その経験を活かして、アパレルCADの基本的な知識 や操作方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	はじめに	グレーディングについて					
2～6	グレーディング	グレーディング					
7～8	〃	デザイン、仕様書作成、寸法決めまで					
9～10	〃	縫製、パターン修正					
11～12	〃	サイズ修正後の寸法決め、グレーディング					
13～14	まとめ	実技テスト					
15	マーキング	マーカー入れ					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	操作手順習得状況50%、実技テスト50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	創作パターン/サンプル縫製 (メンズ・キッズ)		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野口 陽子		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	パタンナーコース2年	
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、デザイン表現技術の修得を目指す。					
学習到達 目標	メンズウェア、子供服、デニムパンツなど幅広いアイテムのパターン制作ができる。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、「今」のファッションを表現するパターンテクニックと型紙の制作方法を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	ビスチェ製図		ビスチェの構造、実寸製図、パーツパターン抜き出し			
3～4	実寸組立て		トワル裁断、ミシン縫製			
5～6	メンズパンツ製図		ノータックパンツ(実寸製図)、パーツパターン抜き出し			
7～8	トワールによる実寸組立て		トワル裁断、ミシン縫製			
9～10	デニムパンツ製図		デニムの専門知識(特徴・用語等)、リーバイス501のサンプルより製図			
11～12	トワールによる実寸組立て		トワル裁断、ミシン縫製			
13～14	子供ワンピース製図		110サイズ原型製図、ワンピース製図			
15	テスト		修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	配布プリント					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	研修			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年		
授業科目の テーマと目的	トレンド発信の早い韓国で、韓国ファッションの勉強と制作する生地や副資材の購入を行い、オリジナルブランド展開に使用する。						
学習到達 目標	イメージを具体化する、かつ数値の予定と併せた仕入れ業務を行う						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	事前準備		韓国トレンド、市場について				
3～14	研修		韓国資材購入				
15	研修まとめ		レポート				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							